

スウェーデン国スキーネ県知事 ベント・ホルガソン氏との会合

日時：2000年5月2日 16:45-17:00

場所：スウェーデン国マルメ市スキーネ県庁舎

先方：スウェーデン国スキーネ県知事 ベント・ホルガソン氏 同県副知事 リ
セ ロッテ ライター女史 同県警本部長 ハンス ランハルト氏

当方：加納時男議員 小宮山永デンマーク国二等書記官 市村（記録）

バーサベック原子力発電所はスキーネ県に位置し、同県庁所在地はマルメ市。

札ガツ：この度はお忙しいところわざわざ日本からお越し頂き恐縮している。
短期間の滞在と伺っているが、北欧の春を満喫していただきたい。

加納：木目細やかな対応に感謝している。時間もないようなので早速本題に入
りたい。地元知事として、今回のバーサベック廃炉に対する率直な感想
をお聞きしたい。

札ガツ：政治的な決定だ。それ以上でもそれ以下でもない。が、シドクラフト
社の反応は悲観的過ぎると思う。バーサベックが無くとも、スウェー
デンはスポットマーケットから安い電気を購入できる。現在、市況は
だぶついており、0.1～0.26 スウェーデンクローネ（1.7～3.4円）で購入できるは
ずだ（注：当該発言についての事実関係は未確認）。バーサベックの電
気は二号機でも0.3～0.56 スウェーデンクローネ（5.1～8.5円）と割高だ。

加納：安全性や経済的理由ならば十分わかるが、今回の決定は関係者の話を伺
えば伺うほどわからない。シドクラフト社が行った調査によれば、スキ
ーネ地域の八割以上がバーサベック発電所を信頼し、存続を希望してい
る。

札ガツ：その気持ちもわかるが、我々はデンマークとの関係も重視する必要が
ある。

加納：失われた電源はどのように賄う予定か。

札ガツ：輸入することになるう。

加納：スウェーデンは国民一人当たりの CO2 排出量が世界で最も少ない。が、今後輸入するとなれば、石炭による発電を購入することになるが。

木ガツ：我々の関与しない話だ。発電は他国の問題であり、何で発電しようが、スウェーデンにとっては reasonable な価格であることが大事だ。バーサベック問題は反原子力に関する政治的シンボルということだ。

加納：デンマークは風力発電に熱心であるが、スキューネ地方では風力導入を考えているか。

木ガツ：風力導入には多額の補助金が必要であろう。補助金を用意するほど価値があるのかどうかは分からない。前述したがスポットマーケットから安く調達できる以上、それを利用すべきだと考えている。個人的には風力はうるさいし、見栄えも悪いと思っている（笑い）。

以 上

